

授業科目	観光関連法規（B クラス）					単位	2	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21103J	
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-4			
担当教員	宮原 英利							
授業概要	毎年9月上旬に実施される「国内旅行業務取扱管理者試験」と、10月上旬に実施される「総合旅行業務取扱管理者試験」に対応します。 「国内」試験3科目「旅行業法」「約款」「国内旅行実務」のうち、法規系の前者2科目の大半を取り上げます。後者1科目は、「国内旅行実務」の授業で対応するので、「国内」受験予定者は両授業を履修することが望ましい。 総合はさらに「海外旅行実務」科目が課されますが、これは「海外旅行実務」(2年次)の授業で対応します。							
学生が達成すべき行動目標	・テキストを使用しての講義となります。 ・テキストを熟読し、且つ、過去問をくり返し解くことで、国家試験合格を目指します。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	10				20	100	
知識・理解 (DP1-1)	70	10					80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)						20		
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
・国家試験科目である「旅行業法及びこれに基づく命令」、「旅行業約款 運送・宿泊約款」2科目のそれぞれの合格点である60点以上(各100点満点)が取れるようになる。				・旅行業の各法規は、旅行業のみならず、観光関連産業に関する高い知識の習得に繋がります。従って、この知識を基に観光関連業種の繋がりを理解し、業務で活用できるようになる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション ・旅行業、及びこれに関連する他の業種を説明しま			講義		復習と予習		30

	す。 ・国家試験の説明を行います。			
2	旅行業法：目的、定義	講義	復習と予習	45
3	旅行業法：登録	講義	復習と予習	45
4	旅行業法：営業保証金	講義	復習と予習	45
5	旅行業法：旅行業務取扱管理者、料金の揭示・旅行業約款	講義	復習と予習	45
6	旅行業法：取引条件の説明・書面の交付	講義	復習と予習	45
7	旅行業法：旅程管理、禁止行為、旅行業協会	講義	復習と予習	45
8	旅行業約款：適用範囲、定義等	講義	復習と予習	45
9	旅行業約款：契約の締結、及び変更	講義	復習と予習	45
10	旅行業約款：契約の解除	講義	復習と予習	45
11	旅行業約款：団体・グループ契約、旅程管理	講義	復習と予習	45
12	旅行業約款：責任(旅程保証)	講義	復習と予習	45
13	旅行業約款：受注型企画旅行契約、手配旅行契約	講義	復習と予習	45
14	旅行業約款：国際、及び国内旅客運送約款、	講義	復習と予習	45
15	旅行業約款：一般貸切旅客自動車運送事業約款、フェリー、及び宿泊約款	講義	復習と予習	45
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	・旅行業の仕事をするうえでの基礎知識として、ツアーのパンフレットや新聞広告を見る事。 ・どこで旅行業法の適用があるか興味を持つこと。 ・日常生活において、あらゆる契約がどのようになされているか興味を持つこと。 ・旅行業務取扱管理者試験に受かりたいという強い思い。			
テキスト	・旅行業実務シリーズ① 旅行業法及びこれに基づく命令 (株)JTB総合研究所 ・旅行業実務シリーズ② 旅行業約款、運送・宿泊約款 (株)JTB総合研究所			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・試験対策練習問題集 : 旅行業務取扱管理者試験 テーマ別問題集(エフィカス)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	・国内旅行業務取扱管理者試験には、本講座のほかに国内旅行実務(運賃・料金、観光地理)が必要であり、総合旅行業務取扱管理者試験には、 更に、海外旅行実務(国際航空運賃・語学・出入国関係法令・海外観光地理・出入国手続実務・旅行業務実務)の勉強が必要となる、息の長い 対策が必要です。そのために、確実に少しずつ進んでいく努力が必要です。継続すれば必ず受かる試験です。 ・観光業は、これからの産業の中核を担う期待できる分野であり、人材の育成はますます重要となります。幅広く知識を習得し国家試験合格のみならず 一般教養として他分野でも活躍できる人材の育成を目指します。 ・是非、欠席しないで、毎回出席してください。			
達成度評価に関するコメント	・適宜行う小テストで、国家試験の要領を掴んでください。 ・各試験科目を合格ライン(60点)まで持っていけるよう継続、努力が必要です。			